

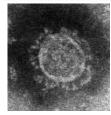
大阪府済生会中津病院 感染対策于一丛

2020年6月号 Vol.79

(2020年6月5日発行)

新型コロナウイルス感染症大流行の対応に伴い、2020年3月~5月の3ヶ月間ICTニュースを休刊しておりましたことをお詫び申し上げます。

~新型コロナウイルス感染症の流行と当院での対応~



国立感染症研究所より

新型コロナウイルス感染症の流行に対応するため、2020年3月以降ICTニュースは休刊させていただいていましたが、6月から復活させていただきます。新型コロナウイルス感染症の世界的流行はまだ全くおさまってはいません。2020年5月31日現在で世界での患者発生数は約606万人(死亡約37万人)、国別では米国約177万人(死亡約10.4万人)、ブラジル約50万人(死亡約2.9万人)、ロシア約40万人、英国約27万人、スペイン約24万人。イタリア約23万人となっています。北半球の多くの国々では患者数の増加が緩和しつつありますが、米国、ロシア、スエーデンではまだ増加しつつあります。また、ブラジルをはじめとする中南米各国、アフリカ諸国ではこれから患者数が更に増加していく可能性が高いと思われます。

日本は2020年4月7日に内閣府から「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発令され、2020年5月25日に解除(大阪府、兵庫県、京都府は5月21日に解除)されました。これまでの日本国内の患者の累積発生数は5月30日現在で16,650人、死亡890人(閣府HP: https://corona.go.jp/dashboard/)、大阪府では累積患者数1,782人、死亡83人(大阪府HP: https://covid19-osaka.info/)となっています。これまでのところ日本は、欧米諸国のような患者発生数の急激な増加(いわゆるOvershoot)による医療崩壊を起こすことはなく、韓国と同様にひとまずは患者発生の抑え込みに成功しているように見えますが、まだ国民の大半が新型コロナウイルスに対する感受性者であることに変わりはなく、世界的な流行が継続している限りはまだ全く油断はできないと思われます。

かぜ症状・境質味覚障害

「呼吸困難、咳・痰

人工呼吸管理など

発症~1週間程度

80%

経症のまま治療

肺炎症状が増悪し入院

集中治療室へ
2-3%で致命的

新型コロナウイルス感染症診療の手引き第2版 「新型コロナウイルス感染症の経過」より

次に当院での対応について記載します。当院は大阪市からの要請を受け、2月以降一貫して帰国者・接触者外来を開設し、帰国者・接触者相談センターから依頼のあった疑い患者の診察・検査を実施してきました。その後近隣の医療機関からの紹介患者に対応するために、呼吸器内科特別外来を立ち上げ、また受診患者さんの発熱例に対応するための外来も設立されました。当院では2月14日以降5月27日までに新型コロナウイルス感染症関連で243名に対して診察を行い、238件の新型コロナウイルス検出を目的としたPCR検査(大阪市の行政検査170件、民間検査機関68件、再検査や陽性例に対する陰性確認検査は除く)を実施しました(図)。31件が陽性と判定され、全て行政検査からで、SRL等の民間の検査機関で実施されたものは全て陰性でした。



図. 済生会中津病院における新型コロナウイル スPCR検査件数の推移(再検査・陰性確認検査を 除く;2020年5月27日まで)

帰国者・接触者外来は49名の診察を行って20名が陽性(陽性率40.8%)と最多であり、呼吸器内科特別外来、救急からはそれぞれ4名の陽性例がありました。31名の陽性例のうち22例が当院入院となり、経過中重症化した例はありましたが、他院へ転院後現在も入院中である1例を除く21例が軽快退院されました。6月1日以降、当院での新型コロナウイルス感染症の入院患者数は0人であり、日本国内、それから大阪府内での流行はようやく落ち着いてきた感があり、学校が再開され、これまで実施されてきた様々な制限は解除されつつあります。しかし、国内において新型コロナウイルス感染症は消失していくわけではなく、流行の第二波、第三波がやってくると考えておくべきだと思われますし、そのためには、これからも病院をあげた準備と対応が必要であり、ICTはその中心となって、中津医療センターのみなさんとともに頑張っていきたいと思っています。(感染管理室 安井良則)

【新型コロナウイルス抗原検査について】

- ➤ 緊急性の高いCOVID-19陽性者を早急に検知する目的としている。
- ⇒ 抗原検査にて陽性の場合は、PCR検査と同様に確定診断として用いることができる。
- ➤ 無症状者へのスクリーニング検査・陰性確認・除外診断目的での使用、無症 状者への使用は推奨されない。
- ▶ 判定が陰性であってもCOVID-19を否定するものではない。
- ▶ 陰性の場合は、必ずPCR検査を提出すること。
- ▶ 別紙「新型コロナウイルス抗原検査実施時の流れ」に従い、検査を実施する。

